

受講レポート作成の留意点

①受講する前に「事前評価」を行う。(数字を記載する。)

②受講時に講師名を確認し、記載する。

③受講後に「視聴終了日」を記載する。

④受講後に「事後評価」を行う。(数字を記載する。)

⑤受講後に「気づきや理解した点等」を手書きで記載する。
この欄は「獲得目標の達成状況」を記載するのではなく、受講して自分が気づいたことや理解したことを記載します。空白や記載が極端に短い場合、内容が不適切と事務局が判断した場合は受講できていないとし、受講証明書・修了証書の発行はいたしません。

⑥すべて記載したら氏名を記載し押印する。

例は初任研用の様式ですが現任研も同様です

NSK e-Learning 受講者用 初任者研修

e-Learning
初任者研修 振り返り・評価シート (科目別)
講義動画視聴終了日 ③ 月 日 ⑥
私は本講義動画を視聴いたしました。氏名: ⑥ 印

| | | | |
|-----|--|-----|---|
| 科目名 | 【講義1-1】(テキストページ 20~32頁) 相談支援(障害児者支援)の目的 | 講師名 | ② |
|-----|--|-----|---|

本シートは、初任者研修で習得すべきことならびについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。
[事前評価] ① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。
[事後評価] ① 受講後の学習効果を確認する(身についた、理解した自己評価と相違があった等)。
② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
|---|------|-----|------------|
| | 受講前 | 受講後 | |
| ① 相談支援専門員のミッション①は障害者の地域生活の実現(継続)であることについて説明できる。 | ① | ④ | ⑤ |
| ② 相談支援専門員のミッション②は障害者の自立と尊厳の確保、社会参加であることについて説明できる。 | | | |
| ③ 相談支援専門員のミッション③は障害者の自己決定(意思決定)やリカバリーへの支援であり、そのためにはエンパワメントやストレングスの視点が必要であることが説明できる。 | | | |
| ④ 相談支援専門員のミッション④は障害者のある人も含めた誰もが暮らすことのできる地域づくりであることについて説明できる。 | | | |

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
←理解度が高い 理解度が低い →

すべてのシートの記載が終了したら、不十分な点はないかご自身で確認の上、締切期限までに事務局(〒761-8046 高松市川部町418 香川県立川部みどり園研修担当)へ郵送して下さい。

受講できていないと事務局が判断した例

例は初任研用の様式ですが現任研も同様です

NSE イーラーニング受講者用 初任者研修

e-Learning

初任者研修 振り返りシート (科目別)

講義動画視聴終了日 7年 7月 2日

私は本講義動画を視聴いたしました。

氏名: 沼田 章 印

| | | | |
|-----|--|-----|---|
| 科目名 | 【講義1-2】(テキストページ 33~57頁) 相談支援の基本的視点 (障害児者支援の基本的視点) | 講師名 | ② |
|-----|--|-----|---|

本シートは、初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

[事前評価] ① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価] ① 受講後の学習効果を確認する(身についた、理解した自己評価と相違があった等)。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
|---------------------------------------|------|-----|------------|
| | 受講前 | 受講後 | |
| ① 障害について正確に説明できる。 (医学モデルと社会モデル) | 1 | ③ | ① |
| ② ステイグマについて説明できる。 | 1 | 3 | ① |
| ③ 個別性の重視、リカバリーについて説明できる。 | ③ | 3 | ⑤ |
| ④ 生活者視点、QOLの重視について説明できる。 | 3 | 4 | ⑤ |
| ⑤ 本人主体、本人中心の支援について説明できる。 | 3 | 5 | ① |
| ⑥ 自己決定(意思決定)の支援について説明できる。 | 5 | 5 | ⑤ |
| ⑦ エンパワメント支援、ストレスを 活かした支援について説明できる。 | ③ | 7 | ⑦ |
| ⑧ 権利擁護について説明できる。 | 7 | 8 | ⑤ |

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
←理解度が高い 理解度が低い →

Ⓐ 日付が不適当

この日付は講義期間外です。視聴終了日は、記載日ではなくその動画の視聴を終えた日を記載してください。

Ⓑ 講師名が空欄

視聴の際にメモを取らないと講師名は分かりません。講師名を書くことは受講したという強力な証です。

Ⓒ 自己評価が空欄

受講前と受講後に2回記入することになっています。

Ⓓ 内容が短い

記述が1行の短いものであり、内容も「気づきや理解した点」ではない。

Ⓔ 内容が不適切

2~3行の記載がありますが、内容は言葉の説明のみで受講したと判断できません。

Ⓕ 内容が不適切

小さな字でたくさん書いていただけていますが、内容は講義とは無関係なものであり、受講したと判断できません。

Ⓖ 空白欄がある

空白欄があります。せっかく長時間視聴したのに、記載をたった一か所うっかり忘れてしまった場合も受講したと判断できません。

e-Learning

現任者研修 振り返り・評価シート(科目別)

講義動画視聴終了日 年 月 日

私は本講義動画を視聴いたしました。氏名： _____ 印

| | | | |
|-----|--|-----|--|
| 科目名 | 【講義 1】(テキストページ 26～72 頁) 障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状 | 講師名 | |
|-----|--|-----|--|

本シートは、現任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

[事前評価]① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価]① 受講後の学習効果を確認する(身についた、理解した自己評価と相違があった等)。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
|---|------|-----|------------|
| | 受講前 | 受講後 | |
| ① 障害福祉制度の経緯について振り返り、最新の法律改正の概要について理解する。 | | | |
| ② 最新の障害福祉サービス等報酬改定の内容について理解する。 | | | |
| ③ 障害福祉計画及び障害児福祉計画の経緯と動向について理解する。 | | | |
| ④ 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業の創設について理解する。 | | | |
| ⑤ 障害者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律等の内容を振り返り、理解を深める。 | | | |
| ⑥ その他関連制度の状況について理解する。 ・介護保険制度との関係性 ・生活困窮者自立支援制度 ・地域共生社会の構築に向けた取り組み | | | |

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

←理解度が高い

理解度が低い→

e-Learning

現任者研修 振り返り・評価シート(科目別)

講義動画視聴終了日 年 月 日

私は本講義動画を視聴いたしました。 氏名: _____ 印

| | | | |
|------------|---|------------|--|
| 科目名 | 【講義 2-1】(テキストページ 74~108 頁) 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及び コミュニティソーシャルワークの理論と方法 第 1 節 意思決定支援に着目した個別相談支援 | 講師名 | |
|------------|---|------------|--|

本シートは、現任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

[事前評価]① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価]① 受講後の学習効果を確認する(身についた、理解した自己評価と相違があった等)。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
|--|------|-----|------------|
| | 受講前 | 受講後 | |
| 相談支援の実務において、相談支援の基本姿勢等を常に意識した実践ができる。 | | | |
| 相談支援において、信頼関係の構築及び自己肯定感・エンパワメントを高めていく支援の必要性を理解し、実践することができる。 | | | |
| 相談支援のプロセスにおける、インテークやアセスメント、モニタリング等の役割や機能、留意点を理解し、実践することができる。 | | | |
| 相談支援における、意思決定支援のポイントを理解し、実践できる。 | | | |

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

←実践できる 実践できない→

e-Learning

現任者研修 振り返り・評価シート(科目別)

講義動画視聴終了日 年 月 日

私は本講義動画を視聴いたしました。 氏名: _____ 印

| | | | |
|-----|---|-----|--|
| 科目名 | 【講義 2-2】(テキストページ 109 ～135 頁) 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及び コミュニティソーシャルワークの理論と方法 第 2 節 多職種連携及びチームアプローチ | 講師名 | |
|-----|---|-----|--|

本シートは、現任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

[事前評価]① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価]① 受講後の学習効果を確認する(身についた、理解した自己評価と相違があった等)。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

| 獲得目標 | 自己評価 | | 気づきや理解した点等 |
|--|------|-----|------------|
| | 受講前 | 受講後 | |
| 多職種連携・チームアプローチの意義や目的・方法を理解し、他のひとに伝えることができる。 | | | |
| ケアマネジメントプロセスの各場面における多職種連携・チームアプローチを理解し、実践することができる。 | | | |
| 事業所・組織・多機関・地域それぞれに応じた多職種連携・チームアプローチを理解し関係作りをするとともに、本人の意思を尊重したチームによる意思決定支援ができる。 | | | |
| 各種会議等において、相談支援専門員の役割と業務を理解し、会議の技術を用いた運営・実践をすることができる。 | | | |
| 多職種連携・チームアプローチの阻害要因を考え、連携先の立場に立った視点、配慮、解決に向けたアイデアをみつけ、実践に活かすことができる。 | | | |
| 多職種連携・チームアプローチの重要性を理解し、常日頃の実践から、本人の最善の支援が実践できるように取り組む姿勢を持っている。 | | | |

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

←できる

できない→

e-Learning

現任研修 振り返り・評価シート (科目別)

講義動画視聴終了日 年 月 日

私は本講義動画を視聴いたしました。 氏名: _____ 印

| | | | |
|-----|---|-----|--|
| 科目名 | 【講義 2 - 3】(テキストページ 136～151 頁) 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及び コミュニティソーシャルワークの理論と方法 第 3 節 地域を基盤としたソーシャルワーク | 講師名 | |
|-----|---|-----|--|

本シートは、現任者研修で習得すべきことごとらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

[事前評価]① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価]① 受講後の学習効果を確認する(身についた、理解した自己評価と相違があった等)。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

| 獲得目標 | 評価 | | 気づき等 |
|---|-----|-----|------|
| | 受講前 | 受講後 | |
| 地域を基盤としたソーシャルワークの意義と機能を理解し、説明できる | | | |
| 個別支援から地域課題の抽出、地域支援の展開について理解し、実践することができる。 | | | |
| 地域課題への取り組みに向けた(自立支援)協議会の活用について理解し、実践することができる。 | | | |
| 地域アセスメントの目的や視点・方法を理解し、実践することができる。 | | | |
| 地域資源の柔軟な活用、資源ネットワークの必要性について理解し、実践できる。 | | | |

10 ←できる

9

8

7

6

5

4

3

2

1

できない→

e-Learning

現任研修 振り返り・評価シート(科目別)

講義動画視聴終了日 年 月 日

私は本講義動画を視聴いたしました。氏名： _____ 印

| | | | |
|-----|---|-----|--|
| 科目名 | 【講義3】(テキストページ 154～166 頁) 実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法 | 講師名 | |
|-----|---|-----|--|

本シートは、現任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

[事前評価]① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

[事後評価]① 受講後の学習効果を確認する(身についた、理解した自己評価と相違があった等)。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○以下の獲得目標毎の自己評価を10段階で評定し、記入する。

| 獲得目標 | 評価 | | 気づき等 |
|---------------------------------------|-----|-----|------|
| | 受講前 | 受講後 | |
| スーパービジョンの定義や機能、特長について説明することができる。 | | | |
| 相談支援専門員のスーパービジョンの必要性を説明することができる。 | | | |
| 事例検討やグループスーパービジョンの必要性を説明することができる。 | | | |
| スーパービジョンの具体的な方法を理解し、実践の中で取り入れることができる。 | | | |

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

←できる

できない→